

体験交流新企画のご案内

鹿児島県種子島

新企画

種子島悠々島暮らし体験

～そこに新たな生活の種がある～



種子島全景



宇宙開発センター



前之浜(海と水田)

鹿児島県薩南諸島にある種子島。鉄砲伝来や宇宙開発センターで有名ですが、農業の盛んな自然環境豊かな島です。都会暮らしから自然環境豊かな種子島での生活を試してみませんか。種子島の一市二町の自治体も島暮らしを強力サポートします。島暮らしお試し体験研修にぜひご参加ください！

- 参加条件：島暮らし体験の希望者、将来移住や2地域居住を考えている方。
- 参加の決定：専用のお申込書を受付後、参加者選考委員会にて参加者を決定します。
- 体験内容：各市町における移住などの相談、既存移住者との交流会、郷土料理教室、移住セミナーの開催、名産の安納芋収穫等農業体験、島の施設見学。

- 農林水産省 広域連携支援事業
- 協力団体

西之表市 経済観光課交流推進室
中種子町 企画課/南種子町 企画課
種子屋久農業協同組合/
種子島観光協会



千座の岩屋



門倉岬



水田地帯



鹿児島市

鹿児島県



南西諸島

種子島

※「種子島 悠々島暮らし体験」の募集詳細は、広報誌「ふれあい」本号同封チラシをご覧ください。

第8回 りんご総採り収穫隊

～今年も農家のお手伝いをお願いします～



“秋の夕日に照る山紅葉”
唱歌「紅葉」は当地出身の国文学者高野辰之博士による作詞です



今年も鈴なりのりんごを期待しましょう



からとなります。しかし12月に入れば雪の季節となり、その前に収穫を終えて

しまわなければなりません。そこで短期間で大量のりんごを収穫することになりますが、農家は忙しいので、それこそ猫の手も借りたいほどです。

そんな忙しい農家の作業をお手伝いし、都市と農村の交流を促すために、この地で「猫の手援農隊」を始めたのは平成14年、当時は中野市と合併する前の豊田村でした。その後、農家が人手をより必要とする摘果作業、さらには地元の自主的な取り組みによる秋の葉摘み作業などにも援農を広げ、農家の期待もますます高まっています。そこで今年の収穫作業にも、ぜひみなさんのお手伝いをお待ちしております。



次々と運ばれてくるりんごの選別作業に農家さんは大忙し



※「第8回 りんご総採り収穫隊」の募集詳細は、広報誌『ふれあい』本号同封チラシをご覧ください。

晩秋の北信州、中野市豊田地区は里の山々が紅葉し、遠く志賀の峰は薄く雪化粧。そんな季節のなか、赤く実ったりんご畑は鮮やかなコントラストを描きます。

ここ豊田地区は、桃やぶどうなどの果樹栽培も盛んですが、なかでもりんごは生産量が多く、規模の大小はありますが約500戸の農家のうちおよそ7割がりんごを生産しています。

ここで生産されるりんごの品種はおもに『サンふじ』で、蜜の入るおいしい収穫時期は、11月後半



援農企画のご案内

千葉県鴨川市

第6回 温州みかん総採り収穫隊

～みかんの収穫で里山保全 日帰り企画～



棚田を望めるみかん畑もあります

南房総鴨川市といえば太平洋に面したリゾートのイメージが強いのですが、内陸部は大山千枚田をはじめ大小の棚田を望む里山風景の中で、米、野菜、花卉、酪農など多彩な農業が営まれている農村地帯です。また温暖な気候であることから温州みかんの産地でもあり、秋になると黄色く色づいたみかん畑が山間のあちらこちらに望めます。しかし、近年はみかんの産地としてはかつての勢いは薄れ、

多くの農家は高齢化とともに生産維持が難しくなってきました。収穫作業にも苦勞しています。みかん畑を放っておけば木にとってもよくありません。しかも山が荒れると里山の環境も保てなくなります。

そこで、今年も収穫のお手伝いをしていただくボランティアを募集します。援農隊のみなさん、みかん農家で収穫作業をして、みかん山の保全にご協力ください！



みかん山の保全にご協力ください！

みかん山では運搬作業もたいへんです



みかんの収穫は二段切り。枝の部分で長めに切ってから、へたの際でもう一度カットします



※「第6回 温州みかん総採り収穫隊」の募集詳細は、広報誌『ふれあい』本号同封チラシをご覧ください。

蔵王フレンドリーファーム

夏休み子ども農業体験学習キャンプ

～食農教育と本物体験を! 今年で24年目を迎えました～

食欲旺盛な子牛たちにみんなでミルクを飲ませました



採ってきた竹を使って弓矢作り。うまく飛ばかな～

首都圏・地元蔵王町合わせて81名の児童が、7月27日から8月7日まで3班に分かれて参加し、たくさんの思い出を残して終了しました。

まずまず恵まれた天気

今年は梅雨明けが遅く、第1班では3日目の川遊びがドッジボール大会に変更となりましたが、第2班と第3班はまずまずの天気に恵まれました。



たいせつに育てられたじゃがいもだから、取り残しがないように収穫しました

より本物の体験を求めて

今年も、蔵王ならではの酪農・農業体験、森や川の自然体験、地元学童や青年会とのふれあいなど、本物の体験を盛り込みました。親元と日常を離れてのキャンプ生活は、参加した子どもたちにとってよい経験になったと思います。

みんなで4日間がんばりました

「夏休み子ども農業体験学習キャンプ」は、毎日、朝6時～夜10時くらいまでのハードスケジュール!



いつも澄んでいる小川で川遊び。ちょっと冷たいけどわいわいがやがや



森林インストラクターの案内で森の探検へ出発

食と農の体験ばかりでなく、地元の方とのふれあい、星座観測・森の探検隊・川の探検隊・キャンプファイア・花火・こわい話・度胸だめしなど、イベントが盛りだくさん。子どもたちもたいへんですが、インストラクターや事務局もたいへん。ホームシックや疲れが出る児童もいましたが、みんなの協力で乗りきった4日間。ほんとうにお疲れさまでした。このキャンプでの経験を生かして、これからもがんばってください。

(報告者 酒寄隆夫)



活動報告

宮城県蔵王町

第5回(最終回) 蔵王梅もぎ収穫隊 3日間

～今年も4軒の梅農家で、31名の猫の手援農隊が5年間を締めくくる大活躍!!～



梅もぎ収穫作業の様子



梅干し作り作業の様子



鈴なりの梅

好天続きで終了した最終回

7月10日、参加した総勢31名のみなさんは、蔵王町ふるさと文化会館に集合して滞在中のスケジュールなどオリエンテーションを行いました。今年、(社)全国農協観光協会が蔵王町の農家さんと都市のみなさんとの「繋ぎ役」として実施する最後の「梅もぎ収穫隊」でしたが、昨年と同じく3日間とも好天に恵まれ4軒の農家に分かれて梅の収穫作業など活動を行い好評のうちに終了することができました。



河北新報に掲載された梅もぎ収穫隊の記事

役場から5名の参加者に記念品を贈呈

5年間欠かすことなく「梅もぎ収穫隊」に参加された5名のみなさんに、蔵王町役場からねぎらいの印として「蔵王こけし」の記念品が贈呈されました。贈呈を受けたみなさんからは「よい励みになります」との声が聞かれ、ほかのみなさんからも温かい拍手が送られました。

【記念品の贈呈を受けたみなさん】
石川信一郎 伊藤照久
久保トモ子 近藤恵美子
高橋正子 (敬称略)

おめでとうございます!!



記念品贈呈の様子

5年間ありがとうございました

これまで中心的に梅もぎ収穫隊の受け入れをされた農家「山家^{やんべ}さん」の交流会でのごあいさつ「これまでは、蔵王町自体、猫の手援農隊のような企画を受け入れる素地ができていなかったが、5年間の梅もぎ収穫隊のおかげで充実できたと思う。これからも受け入れができるようがんばりたい」が印象的でした。今後、地元での受け入れ体制が整えば、本会としてもできる限り協力したいと思います。長い間ありがとうございました。

(報告者：西尾憲生)

民俗芸能行事のご案内

第21回 「民俗芸能と農村生活を考える会」参加者募集

～島根県益田市「石見神楽」～

入場無料

「民俗芸能と農村生活を考える会」は日本人の心のふるさと「農村」に伝わる伝統芸能を鑑賞し、その背景にある地域の暮らしを知ることによって、都市住民の方々と農林漁業・農山漁村の現状を考えることを目的としています。

今回ご紹介する「石見神楽」は、島根県西部石見地方に伝わる民俗芸能で、起源については諸説ありますが、室町時代の末期にすでに行われていた田楽系の神楽に出雲神楽や能・狂言・歌舞伎などの芸能の要素が加わり、現在の石見神楽が成立したと考えられています。

江戸時代までは神官がこの神楽を上演していましたが、明治維新の神職演舞禁止令により、神官から土地の人々に受け継がれさまざまな工夫・演目が付け加えられ、テ



道返し

ンポの速い八調子と絢爛豪華な衣装が特徴的な現在のかたちになっています。

石見神楽を演じる社中・保存会は100を超え、演目は30数種を数えますが、今回は、益田市石見神楽神和

会により以下の3つの演目を演じていただくことになっています。

恵比須 恵比須は、**おおくにぬしのみこと** 大国主命の子である**ごとしろぬしのみこと** 事代主命のこと。恵比須が鯛を釣るおめでたい舞で新年を寿ぎます。

道返し 道返しは俗に「鬼返し」ともいわれ、鬼を殺さずに改心をさせることから、道の途中から返すという意味です。主人公の**たけみか** 武甕つちのみこと 槌命は悪鬼を迎え討ち降参させ、九州高千穂に追放し、九州地方の農業の振興を図らせたといいます。

後に食物の神として祭られました。**おろち** **たかまのはら** **すさの** **おのみこと** 大蛇 高天原を追放された須佐之男命が、出雲の国で嘆き悲しむ老



大蛇

夫婦と娘に出会います。命が尋ねると、奥山に住む大蛇が毎年出てきて娘をさらってゆき、8人のうち1人だけとなったとのこと。そこで、命は老夫婦に造らせた濃い酒を大蛇に飲ませて退治します。

※演目は変更になる場合があります。



恵比寿

開催日時・場所

平成22年1月9日(土) 13:00開場 14:00開演(予定)

ドーンセンターホール

大阪市中央区大手前1-3-49

ドーンセンターホールのロビーでは、石見地方また益田市をより知っていただけるよう、特産品の販売、観光地のご紹介、神楽衣装の試着(先着順)なども実施する予定です。

お申込方法

入場ご希望の方は往復はがきにて下記申込事項を記入してお申込みください(2名以上の場合も、全員の申込事項をお知らせください)。①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな)

③電話番号

※返信用はがきには代表者の住所、氏名をかならずお書きください。受付後、返信用はがきに「入場整理券」を印刷して送付します。

※『ふれあい』をご覧になってお申し込みの方は、宛名シール右下の番号をご記入ください。

お申込先

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-3-39
大広新大阪ビル3階

(社)全国農協観光協会 西日本事務所 ふれあい係
TEL:06-7651-3285 FAX:06-6391-1391

申込締切日

平成21年12月25日(金)

先着順に受け付け、定員(500名)になりしだい締め切らせていただきます。

「エコ・フードフェア&エコ・コンサート」のご紹介 Nツアーからのお知らせ



JAグループが「よい食」宣言のもと、「残さず食べよう！ 環食（完食）生活」をスローガンに掲げ、日本の食料自給率の向上と食料残渣の減量化を促進する運動を展開しています。JAグループや企業・行政が連携し、多くの方々へ「食」のたいせつさを発信する「みんなのよい食 エコ・フードフェア」を開催します。そのメイン企画として音楽を通じて「エコ」や「食」「農」を呼びかけるコンサートを実施。昭和を代表するTV番組「夜のヒットスタジオ」を彷彿させる井上順さんと芳村真理さんの名司会による多彩な音楽コンサートです。



会 場: 仙台サンプラザ・大ホール
(宮城県仙台市)

開催日時: 平成21年12月13日(日)
昼の部: 開演 13:30~15:30
夜の部: 開演 17:30~19:30

チケット代金(消費税込み)
S席(1階): 10,000円
A席(2階): 7,000円
B席(3階): 5,000円

主な出演者(敬称略)

司会者: 井上順、芳村真理
歌 手: 森進一、尾崎紀世彦、菅原洋一、
渡辺真知子、錦織健、さとう宗幸、
石原詢子、RYU(韓国)、
大江裕 計9組

予約方法: (株) 農協観光ホームページ(エコ・フードフェア)にて9月より先行販売
<http://www.ntour.jp/>

※詳細はホームページをご覧ください、下記までお問い合わせください

(株) 農協観光 グリーンツーリズム事業本部

WEB(ウェブ) 事業課

TEL 03-5297-0308(営業時間 平日9:00~17:30)

400号記念『ふれあい』アンケートのご案内 ふれ愛便商品をプレゼント

いつも『ふれあい』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

おかげさまで、『ふれあい』はそれ以前に発行されていた旅の情報誌から、通算してこの10月号で400号を数えることになりました。

これもひとえに、応援して下さったみな様のおかげと、『ふれあい』関係者一同、心より感謝いたします。

この400号の発行を機に、これからの『ふれあい』をよりよいものになりたいと考え、皆様から誌面のご感想をお聞かせいただきたく、アンケートを実施することにいたしました。

本号に同封しましたアンケート用紙に記入、送付していただくほか、インターネットからのアンケート参加も可能です。ぜひとも、率直なご意見、ご感想をお書きのうえ、ご返信くださいますようお願いいたします。

アンケートにお答えいただいた方のなかから、抽選で30名様に「ふれ愛便」の商品をプレゼントさせていただきます(なお、抽選は無作為で行いますので、アンケートの回答内容に影響されることはありません)。

アンケートの締切日は、ファックス、郵送、インターネットのいずれも、10月31日(土)着信までとさせていただきます。

アンケートのあて先

FAXをご利用の場合

社団法人 全国農協観光協会 ふれあい係

FAX 03-3213-1074

郵送の場合

〒100-6826 東京都千代田区

大手町1-3-1 JAビル26F

社団法人 全国農協観光協会 ふれあい係

インターネットからの参加はこちらから

<http://www.znk.or.jp>

※住所・氏名・電話番号はかならずお書きください。

※個人情報は本会のプライバシーポリシーに基づき、適正に取り扱います。

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。